

第二回 香大っこサポーター養成講座「託児体験実習」(報告書)

- 日 時：平成30年2月9日(金) 10:30~14:30
- 場 所：幸町キャンパス 北8号館2階 集団療法室
- 受講者：2名(他1名は、個別実習済み)

1月19日(金)に実施した、香大っこサポーター養成講座「説明会」に続いて、2月9日(金)香大っこサポーター養成講座「託児体験実習」を実施しました。

香大っこサポーターの個別の託児に備えて、指導者が見守る中、実際の乳幼児の預かりを通して具体的な託児技術を習得することを目的に行いました。

国分寺子育て広場「あそびviva!ぶんぶん」を利用する保護者の方々にご協力いただき、託児ボランティアあゆみ代表 梶ヶ谷真知子さんのご指導のもと、4ヶ月~2歳まで、計4名の乳幼児の託児を体験しました。

初めに、子どもたちの特徴や好きな遊び、アレルギーの有無などが記載されている託児シートの記述を確認しました。

子どもたちが到着し、お預かりしてお母さんとお別れする時「ママがいい」と泣き出す子もいましたが、意外とあっさり離れる子もいたり、その子によってまるで違う反応を見せていました。

「ママがいい」としばらく泣いていた子も、受講生と遊んでいるうちに大声で笑うようになり、前転を披露してくれました。最初は少し戸惑っていた受講生も、おもちゃやお人形で上手にコミュニケーションをとっていました。

お昼になり、みんなで机を囲んでお弁当を食べました。小さな子は受講生が食べさせてあげ、2歳の子は小さな手でお箸やフォークを持ち、自分で口に運んでいました。食べるのが止まると、「これ食べる?美味しいよ」と食べるのを促したり、小さく切って口に運んであげるなど、少しでも食べてもらおうとそれぞれが工夫をしていました。また、哺乳瓶でミルクをあげる体験もしました。

お昼ご飯の後も元気いっぱい遊び、その頃には子どもたちと受講生たちも、すっかり仲良くなっていました。

今回、参加した学生からは「次、何をしたいのか予想できないので、危なくないようにきちんと目を配っていないといけなかった。保護者の方が安心して子どもを預けられるように、安全に注意して子どもにも楽しんでもらいたい。」「子どもとサポーターとして関わっていく中で、様々な対応の仕方を身に付けたい。」などの感想があり、実習を通して育児の大変さを実感しつつ、子どもに危険が及ばないように見守ることの大切さや、子どもによって柔軟な対応を心がけることで子どももそれに応えてくれる、ということを学んだようでした。

ご協力いただきました、国分寺子育て広場「あそびviva!ぶんぶん」保護者の皆さま、託児ボランティアあゆみ梶ヶ谷さま、本当にありがとうございました。

